

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201109
事業所名	グループホームチアフル音明かり詩明かり

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目：2)	評価
	8月の夏祭りには屋台や盆踊りを催し地域の子ども達も参加して一緒に楽しんだ。10月の運動会は看護短期大学の全面協力があり、家族も一緒に楽しみ恒例行事になっている。ボランティアの定期訪問があり、入居者の気分転換になっている。子ども110番も受けている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目：3)	評価
	年6回、市職員、町内会の会長、副会長、老人会会長、民生委員、家族代表、地域包括支援センター職員、知見者、ホーム職員で開催している。ホームの活動状況の報告をし、気づきや課題を話し合い、サービスの向上に活かしている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目：4)	評価
	市にはホームの状況報告をするなどホームを理解してもらい、相談や協力関係を築いている。認定更新の機会には入居者のホームでの暮らしぶりを伝え連携を深めている。市の展覧会に参加している。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目：6)	評価
	毎朝の申し送り時に、職員の意見を聞くようにしている。月1回職員会議を行い、相談できる体制がある。また、年2回管理者と個別面談の機会もある。他事業所との交流では職員も学ぶことが多い。2カ月毎に職員同士の食事会があり親睦の場となっている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。